

オイスカ浜松国際高等学校
インターアクトクラブ発会式

報告書

開催日 令和5年2月4日(土)

会場 ホテルコンコルド浜松

Inter Act Club.

オイスカ浜松国際高等学校 インターアクトクラブ発会式
式次第

- 12:20 開会点鐘
国歌・ロータリーソング ソングリーダー 中村美香保
- 12:25 来賓紹介、提唱クラブ会長挨拶 浜松西RC 会長 山地 峰 春
- 12:40 RI2620地区 第5グループ ガバナー補佐 坂田 茂
ガバナー補佐挨拶
実行委員長挨拶 提唱クラブ青少年奉仕委員長 中村 俊 幸
- 12:50 来賓挨拶
RI2620地区 第5グループガバナー 浅原 諒 蔵 様
RI2620地区 第5グループガバナーエレクト 中村 皇 積 様
RI2620地区 ロータリープログラム委員長 小澤 邦比呂 様
- 13:05 インターアクトクラブ挨拶
オイスカ浜松国際高等学校 鬼石 貞治 校長先生
インターアクトクラブ発表
オイスカ浜松国際高等学校 インターアクトクラブ 生徒たち
- 13:35 総評 RI2620地区 第5グループガバナー 浅原 諒 蔵 様
- 13:40 閉会点鐘

Oisca Hamamatsu kokusai High School Inter Act Club



司会 上田昌宏
ガバナー補佐事務局長



中村美香保 ソングリーダー



山地峰春
浜松西ロータリークラブ会長 挨拶



坂田 茂 RI2620地区
静岡第5グループガバナー補佐 挨拶



中村俊幸 実行委員長 挨拶



RI2620地区 静岡第5グループ ガバナー 浅原 諒 蔵

オイスカ浜松国際高等学校IACの門出をお祝いしてご挨拶申し上げます
浜松西ロータリークラブの提唱によって、本日、新しいインターアクトクラブが発足致しましたこと、誠にめでたうございます。

オイスカ浜松国際高校は「自然の恩恵に感謝し、国際社会に貢献できる心豊かな人材を育成する」という教育目標を掲げ、体験型教育の実践を通して次の時代を担う若者を育てています。そのような教育方針の下で学ぶ生徒さん達が、今度はインターアクトに関心を抱いてくれたことは喜ばしい限りです。

ご存じのようにインターアクトは、ロータリークラブの支援を受けて高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養うことを目的としています。

オイスカ浜松国際高校には外国籍の生徒さんや留学生も数多く学んでおりますので国際感覚は既に十分、身につけているかと思いますが、そこにロータリーの奉仕の理念が新しく付け加わることになりました。

ロータリーは国際的な奉仕団体で、色々な活動をしておりますが、その中の一つ社会奉仕は「地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献する」とこととあります。奉仕活動に参加することで社会の役に立っていることを肌で感じ、自分の生き方に誇りを持つだけでなく、それは生きていることの喜びにも繋がります。

オイスカ浜松国際高校の建学の精神に「人々が様々な違いを乗り越えて共存し」という一説がありますが、これはロータリーで最近よく耳にするDEIのダイバーシティに他なりません。最近でこそよく耳にするダイバーシティですが、高校では創立以来の教育方針ということですから、或る意味ロータリーよりも早い時点で今日あることを見据えていたこととなります。

本日、浜松西RCの提唱によって生まれたオイスカ浜松国際高等学校インターアクトクラブが活動を開始します。そしてIACの会員の皆さんはロータリーファミリーとして、私達と共に奉仕プロジェクトの担い手となりました。

ロータリークラブと私達ロータリアンは、インターアクトの皆さんを支援します。共に活動し、共に学ぶことでサポートします。世界に友達を広げながらボランティア精神と国際感覚を身につけるといふインターアクトの目的に向けて力強く走り出してください。

本日は誠にめでたうございました。





RI2620地区 静岡第5グループ ガバナーエレクト 中村 皇 積

オイスカ浜松国際高等学校インターアクトクラブの発会にあたり、インターアクターの皆様、保護者・学校関係者の皆さま、浜松西ロータリークラブの皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

インターアクターの皆さまは、オイスカの理念の下、日頃から地球上に生きる全ての生命がバランスを保ちながら共生する持続可能な世界、「ふるさとづくり」に励まれる国際人と伺っております。

私たちも、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリーの理念とオイスカの理念は見事にマッチしております。国際連合の諮問機関でもある両者が本日、この浜松において、インターアクトプログラムを通じてパートナーシップを結ぶことができましたことは慶びに堪えません。

私たちは、「奉仕の理念と実践」を大切にしています。志と誇り、多様性を育み、他人の立場に立って慮り、手を差し伸べるフェローシップ、そして、リーダーシップとフォロワーシップをもってお互いを高め合う理念を共有しております。

これからロータリーは、皆さまにさまざまな体験と機会を提供させていただきます。どうぞ思う存分にロータリーの世界を楽しんでいただき、アイデンティティを育む一助となれば幸いに存じます。私たちも皆さまから多くのことを学ばせていただきます。

国際理解、親善、平和を推進する使命を担うロータリー会員の皆さまにも申し上げます。まずもって浜松西ロータリークラブ様の取り組みに心より敬意と感謝を申し上げます。私たちは、今日ここに地域社会共通の財産であるオイスカ浜松国際高等学校の皆さまをロータリーに迎え入れました。言わば誓いを立てたわけでございます。私も含めてインターアクターの皆さまに、学校関係者、保護者の皆さまに尽くし、学び合おうではありませんか。

皆さまの益々のご発展とロータリーの成長、そして平和で健やかな世界を祈念してお祝いに代えさせていただきます。

「私も高校時代にインターアクトに出会いたかった!!」本日はおめでとうございます。



RI2620地区 静岡第5グループ プログラム委員長 小澤 邦 比 呂

只今ご紹介いただきましたプログラム委員会小澤でございます。

このたびは、オイスカ浜松国際高等学校インターアクトクラブ発会式誠におめでとうございます。昨年7月8日浜松西RCとオイスカ浜松国際高等学校とでインターアクトクラブを結成し国際ロータリーに申請をいたしました。そして7月26日結成認定状を国際ロータリージェニファージョーンズ会長よりいただきました。

結成に向け大変ご尽力いただきました浜松西RC・坂田ガバナー補佐・山地会長はじめ会員の皆様に感謝申し上げます。

しかしこれからが重要です。高い目標をかかげ、仲間と活動を継続することが学生

生活を充実させ自らの成長に繋がります。思い出すことと確信いたします。

大正時代の社会教育家、後藤静香のことに『第一歩』という詩があります。

十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう

三笠山にのぼる第一歩 富士山にのぼる第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう

どこまで行くつもりか どこまで登るつもりか 目標が その日その日を支配する

三笠山は奈良県にあり標高約300mの山です。富士山は標高約3700mです。

また、100mを走る時とマラソン42.195kmを走る時では準備や覚悟が当然ちがいます。

目標を達成するために覚悟を決め自らの目標をどこにおき行動するかで充実した日その日を支配できかきまるのではないのでしょうか。目標と覚悟が事業を継続しより成長できるか、できないかにかかってくるのだと思います。

どうぞ浜松西RCのロータリアンの皆様にオイスカ高校インターアクトクラブの皆様の活動に対する積極的な考え、思いをぶつけてください。ロータリアンの皆様は必ずうけとめてくれるはずですよ。

「不可能はあなたの心がつくるもの。可能はあなたの努力がつくるもの」といいます。

今後の浜松西ロータリークラブとオイスカ浜松国際高等学校の皆様の活動にご期待申し上げお祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございました。



オイスカ浜松国際高等学校 校長 鬼石 貞 治

本校のインターアクトクラブ発会式を盛大に開催していただき、ありがとうございます。ロータリークラブ関係者の皆様には、日頃から多大なるご支援・ご協力をいただき、本当にありがたく思っているところです。特に、直近では、併設するオイスカ開発教育専門学校で学ぶウクライナ避難女性のために、大変ありがたい支援金をいただきました。本日の開催と併せて、深くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、本校は1983年に「オイスカ高等学校」として開校し、今年で満40周年を迎える普通科の高等学校です。開校以来、母体である国際NGOオイスカ・インターナショナルの理念のもと、「国際理解教育」と「環境保全教育」を教育の柱としてきました。満40周年を迎えるにあたり、さらなる発展を目指した学校改革の一環として、令和4年度より校名を「オイスカ浜松国際高等学校」に変更しました。「オイスカ」の理念のもと、「浜松」を学びの舞台とした「国際高等学校」を目指すという意味が込められています。そして、新たな教育方針として、SDGsの理念に紐づけた学びを「オイスカSDGs教育」と称し、具体的な教育活動宣言として「環境教育宣言! ミニ・ワールド宣言! 地域協働宣言!」を掲げました。特に「地域協働宣言!」については、生徒の学びを地域社会に広げることで、企業・行政・大学等の諸機関と連携した学びを推進しています。

このような新たな方針の中で、部活動などの生徒の任意活動においても地域の皆様と連携した活動に取り組みたいと考えていたところ、浜松西ロータリークラブ現会長の山地峰春様よりロータリークラブの活動についてご紹介をいただきました。この出会いが「縁」となり、インターアクトクラブ設立に向けた動きにつながりました。設立準備の期間においても、山地会長を始めとする多くの方々にサポートをいただき、校内でのコンセンサス作りへの支援や、他校のインターアクトクラブをご紹介いただいたりして、本日の発会式を迎えるに至りました。

ロータリークラブの基本的理念を一言で表すとすれば「奉仕」という言葉がキーワードになるかと思えます。本校の校訓は「畏敬・知性・奉仕」です。まさに「奉仕」という共通項に導かれたこのご縁を大切に、ともに活動を発展させていけるよう本校としてもインターアクトクラブの活動を全面的に支援していく予定です。これからも温かいご支援のほど、よろしく願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

Oisca Hamamatsu kokusai High School



オイスカ浜松国際高等学校 インターアクトクラブ発表



Rotary  **浜松西ロータリークラブ**
The Rotary Club of Hamamatsu West